

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成25年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立あけぼの医療福祉センター成人寮	所管課	障害福祉課
所在地	韮崎市旭町上條南割3251-1	設置年月日 (改築年月日等)	昭和48年4月1日(平成18年9月1日改築)
管理方式	指定管理者(社会福祉法人山梨県障害者援護協会、平成18年9月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立障害者支援施設設置及び管理条例		
設置目的	身体障害者に必要な指導及び訓練を行い、自立した日常生活や社会参加を図ること。		
主な施設内容 (定員等)	主な施設内容:理学療法室、機能訓練室、自立訓練室、パソコン訓練室、訓練室、職能判定室、言語聴覚室、活動室、静養室・医務室、食堂(3箇所)、洗濯室(2箇所)、浴室・脱衣室、多目的ルーム、スタッフステーション、居室(10.5㎡×55室) 定員:自立訓練(機能訓練)(20人)、生活介護(40人)、施設入所支援(40人)、短期入所(10人)		
主な業務内容	施設及び設備器具の維持保全に関する業務 利用者に対するサービス業務・生活介護・施設入所支援・自立訓練(機能訓練)・短期入所 その他知事が必要と認める業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	近隣施設 ・山梨県立あけぼの医療福祉センター:医療型障害児入所(療養介護)(80人)、児童発達支援(15人)、生活介護(15人)、短期入所(15人) ・山梨県立育精福祉センター成人寮:生活介護(105人)、施設入所支援(90人)、短期入所(9人)
---------------------	---

3 利用状況

単位:人、%

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (目標値)
利用者数	自立訓練(機能訓練)	21	18	20	
	生活介護	40	37	39	
	施設入所支援	37	38	39	
	短期入所	17	19	17	
	利用者数合計	115	112	115	
	目標値	110	110	110	110
	目標値設定の考え方	施設の性格上、利用者数に目標値を設定することは馴染まないことから定員を目標値とする。			
対23年度比	100.0%	97.4%	100.0%	95.7%	
稼働率	104.5%	101.8%	104.5%		

## 4 収支状況

単位:円、%

		平成24年度	平成25年度 (計画値)	平成25年度 (実績値)	平成26年度 (計画値)
収入	施設利用料	194,130,831	196,360,000	199,916,277	196,360,000
	指定管理者委託料	0	0	0	0
	その他	1,095,700	450,000	1,400,520	760,000
	収入合計(A)	195,226,531	196,810,000	201,316,797	197,120,000
支出	人件費	114,803,851	121,190,000	119,464,871	122,580,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	55,479,674	75,620,000	66,544,483	74,540,000
	(うち外部委託費)(B)	3,923,016	3,950,000	3,509,779	3,950,000
	支出合計(C)	170,283,525	196,810,000	186,009,354	197,120,000
収支差額(A - C)		24,943,006	0	15,307,443	0
外部委託比率(B ÷ C)		2.3%	2.0%	1.9%	2.0%
利用者一人当りの経費		0	0	0	0

## 5 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成25年9月、平成26年3月(2回実施) 実施方法:利用者へのアンケート 回答数:第1回65人、第2回62人(施設入所支援サービス利用者)
-------	---

単位: %

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
施設・設備管理	75.5%	17.5%	3.5%	3.5%
プライバシーや個人情報	87.7%	3.5%	5.3%	3.5%
食事	56.2%	36.8%	3.5%	3.5%
職員の対応の仕方	84.2%	10.5%	1.8%	3.5%
利用者への日常サー ビス支援サービス	78.9%	14.0%	1.8%	5.3%
リハビリテーション・作業訓練	73.7%	14.0%	5.3%	7.0%
各項目の平均	76.0%	16.1%	3.5%	4.4%

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレを広くしてほしい。トイレのナースコールが押しにくい。</li> <li>・食事について、同じ内容が多い。刻みすぎる。</li> <li>・自分の好きな趣味活動をしたい。</li> <li>・療法の時間が短い。参加できない活動が多い。</li> </ul>
利用者の意見 への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレの使用方法についてアドバイスする等、可能な限り対応した。</li> <li>・利用者の個々の嗜好や病気や障害が異なるため、一概に改善することは難しいが、年4回実施される給食委員会等で直接に利用者の意見を「あけぼの医療福祉センター-栄養士」や「給食事業者」に伝えている。</li> <li>・利用者の意見を傾聴し、可能な限り利用者の意向に沿った支援を行った。</li> <li>・活動内容や訓練メニューは利用者の障害や理解度や社会性など様々なことが考慮され設定しているが、集団活動はどこの基準を置くかで満足度が変わってくる。なるべく多くの方が満足行くように検討していきたい。</li> </ul>

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	法令、業務仕様書等に基づき、適正に業務を執行した。	業務仕様書、業務計画書どおり適正に実施されている。
運營業務	事業計画書に基づき、適正に業務を執行した。	事業報告書及び現地確認の結果、概ね適性に実施されている。今後も引き続き、利用者個々の特性に鑑みた個別支援計画を策定し、質の高いサービスの提供のために努力されたい。
自主事業	該当なし	該当なし
利用状況	通所サービス事業は年間を通じて事業計画を上回る利用実績を上げている。入所事業に関しては事業計画には及ばないが関係機関との連携やサービスの周知を行い利用者の確保に努力した。 ・施設入所支援 95% ・生活介護 90.6% ・自立訓練(機能訓練) 89% ・短期入所 182.5%	関係機関からの実習生や見学者を積極的に受け入れ、ホームページの更新等、施設利用促進に努めている。機能訓練については、県内で同一サービスを提供できる施設がないことから、リハビリテーション病院等、関係機関との連携を深め、質の高いサービスの提供に引き続き努めていただきたい。
収支状況	積極的なサービスの提供により結果として増収につながった。支出面でもコスト削減に努めた。	コスト削減により、効率的な運営・管理が行われた。引き続き同様の経営が実現できるよう努力されたい。
利用者満足度	要望のあったことについては、可能な限り対応を行った。今後とも利用者の声を聞き、改善できる点は行い、より一層のサービス向上に努めていく。	満足の平均値が76.0%と利用者は概ね満足していると考えられる。昨年度と比較すると全体的に低下傾向になっていることから、利用者のニーズを把握したうえで、より質の高いサービスを提供されるよう努力されたい。
運営目標の達成状況	個別支援計画に沿ったサービスを提供するとともに、定期的な評価・アセスメントを実施することで、利用者ニーズに合った質の高いサービスを適時に提供できた。個々の利用者の状況を把握し、必要に応じた支援を行なうことにより、利用者の生活の質を向上させることができた。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	施設管理・運營業務等について、条例、協定等に基づき概ね適正に履行した。経費削減に努めるとともに、増収に努めた。利用者ニーズの把握に努め、利用者サービスの向上に努力した。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	条例、協定等に基づき適正な執行を行う。経費削減に努めるとともに、サービス利用を促すよう広報等行っていく。利用者個々のケースに対するケア会議を実施し、よりきめ細やかな支援を行うため計画策定に努力するとともに、リハビリテーション・作業訓練の質を高めるため、理学療法士を新たに任用し、利用者サービスの質の向上に努めた。	

7 管理体制(組織図)

